

(3) あるある City との連携によるサブカル系イベントの開催

<主な事業>

① コスプレや同人誌の展示即売などのサブカルイベント開催<事業主体：市・民>

目標年次：短期

あるある City と連携し、新幹線口エリアで、コスプレや同人誌の展示即売などのサブカル系のイベントを開催する。

② にぎわい施設等の誘致<事業主体：市・民>

目標：新たな施設の入場者数 10万人/年 目標年次：長期

漫画ミュージアムが入居する“あるある City”は、市内外から多くのまんが・アニメファンが集まっている。圧倒的な集客力を持つキャラクターのオフィシャルショップを“あるある City”などとの連携により誘致することで、さらなる集客を図っていく。

(4) イベントがしやすい環境づくり

<主な事業>

① 民間イベント等のバックアップ<事業主体：市>

目標年次：短期

民間団体が新たなイベント等を行うにあたり、必要なノウハウの提供や支援制度、関係部署・団体の紹介などの支援を行う。併せて、連携したPRの仕組みを構築する。

② イベントや施設間の連携を促進する仕組みづくり<事業主体：市・民>

目標年次：中期

新幹線口エリア全体の活性化を図るため、エリアマネジメントの考え方を取り入れ、同エリア内で開催される各種イベントや、施設間の連携を促進する仕組みや体制について整備を図る。

③ にぎわい施設・空間の整備<事業主体：市>

目標年次：中期

新幹線口エリアの魅力づくりやポテンシャル向上に加え、歩行者が安全・快適に回遊できるよう、にぎわい施設・空間の整備を行う。

- ・スケートボードやストリートダンス、ミュージックができる広場として、また、スタジアムや周辺施設と連携した各種イベント、ケータリングの場として利用できる「(仮称)浅野町緑地」
- ・親水性を高め、海辺の魅力を感じながら散策できる「港湾緑地」
- ・(仮称)浅野町緑地からスタジアムを経由し、港湾緑地に至る回遊ルートとしての「横断歩道橋」と「スタジアム外周デッキ」

(5) 公共空間の魅力アップ

<主な事業>

①公共空間を活用したにぎわい創出の仕組みづくり<事業主体：市・民>

目標年次：中期

道路・河川・港湾緑地などの公共空間において、民有地との一体的な利用や、民間事業者が行うオープンカフェやオープンマーケットなどの日常的な開催が可能となるよう、一定条件のもとでの規制緩和などにぎわい創出の仕組みを検討する。

②まちなか無料公衆無線 LAN サービスの環境づくり

旅行者等をはじめ、誰もが本市の魅力を余すところなく楽しむために、気軽にリアルタイムで情報の収集や発信が可能な環境づくりを行う。

方向性Ⅱ 滞在時間を延ばす仕掛け

1 基本的な考え方

スタジアムをはじめ新幹線口エリアを訪れた人が小倉城口エリアの商店街などで飲食や買い物をしたり、一つのイベントに参加した人が他のイベントにも参加できるなど、都心部の回遊性を高める仕組みを構築し、できるだけ長い時間滞在してもらうことで、都心部全体のにぎわいの創出を図る。

都心部への宿泊客の増加を図るため、夜を楽しめる魅力ある商品の開発を進める。

2 事業の柱と主な事業

(1) 回遊性を高める仕組み

- ・スタジアム来場者が商店街等を回遊する仕組み
- ・イベント情報の集約・告知等による回遊性向上
- ・小倉駅のリニューアル
- ・回遊性の向上に向けた歩行者動線の検討
- ・キャラクターストリートの検討
- ・「文化・芸術の街 北九州」の発信

(2) アフターイベントを盛り上げる都心部の魅力を高める取り組み

- ・サンロード商店街のリニューアル
- ・小倉城周辺の魅力向上検討
- ・都心部の魅力発見

(1) 回遊性を高める仕組み

<主な事業>

① スタジアム来場者が商店街等を回遊する仕組み<事業主体：市・民>

目標年次：中期（H29年3月供用開始）

商店街や集客施設等と連携し、新幹線口に建設されるスタジアムへの来場者が、商店街や大型商業施設で飲食・買い物をしたり、小倉城や松本清張記念館などの歴史・文化施設を観覧したりする等、都心部で長く滞在する仕組みを作る。

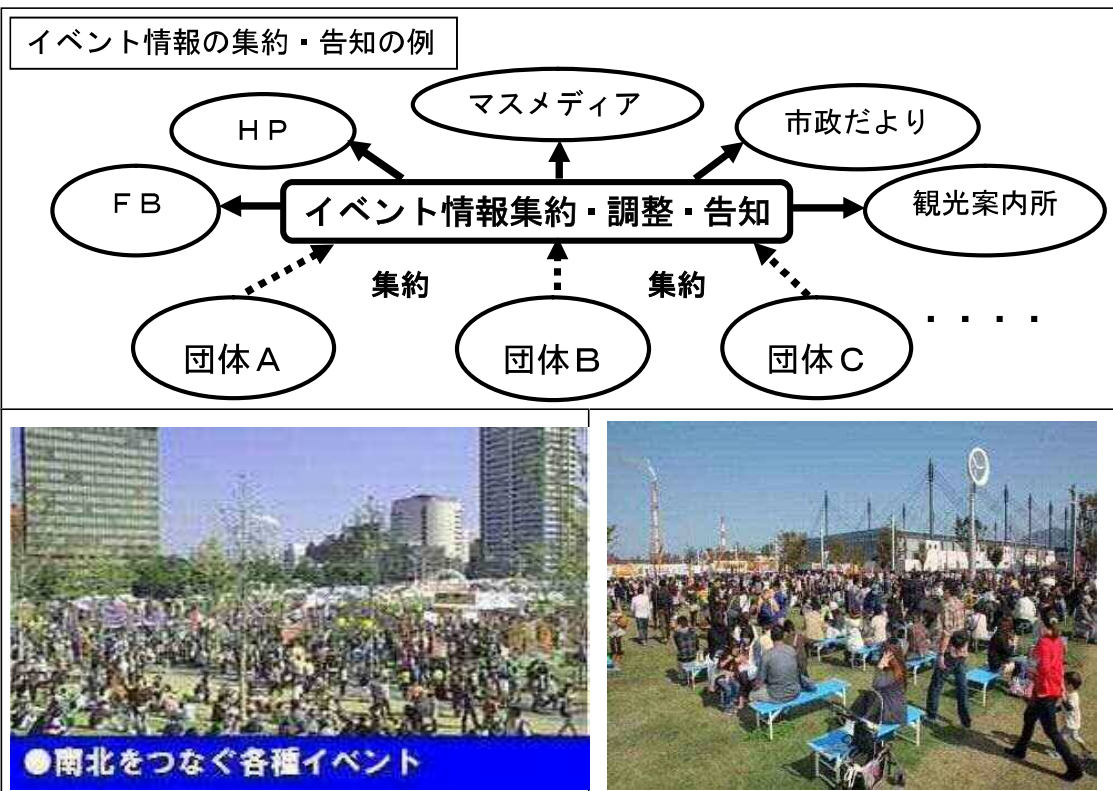
例えば、ギラヴァンツ北九州が勝利したときに、チケットの半券の提示による商品や入館料の割引サービスや商店街内においてスタジアム来場者などのファンが集える拠点となる施設の誘致などが考えられる。

② イベント情報の集約・告知等による回遊性向上<事業主体：市・民>

目標年次：短期

あさの汐風公園など新幹線口エリアや紫川周辺、勝山公園などで開催されるイベント情報を集約し、各団体のイベントの開催日程や会場の調整を行い、小倉駅南北でイベントが同時開催できる仕組みを作る。

また、幅広く告知することで、都心部を訪れた人が、同じ日の複数のイベントに参加しやすい仕組みを作り、回遊性を高める。



③ 小倉駅のリニューアル

③-1 南北連絡通路のリニューアル<事業主体：市・民>

目標年次：中期

モノレールの小倉駅乗り入れに併せた大規模改修から16年が経過し、老朽化や照度が低いなどの課題が出てきた。そのため、JR小倉駅の南北連絡通路（3階部分）や小倉駅バスセンターなどの設備を改修するなど、本市の玄関口である小倉駅の魅力を高める。

併せて、小倉駅1階の東西の連絡通路については、JRなど関係者と協力して、明るい歩行空間の創出に取り組む。例えば、周辺施設と連携し、展示スペースの設置を検討するなど、本市ならではの魅力発信の場にするなど考えられる。

③-2 小倉城口の憩い空間（緑化）の整備<事業主体：市>

目標年次：短期

太陽光ルーフやLED照明により、環境モデル都市を感じさせるシンボリックな空間となった小倉城口ペDESTリアンデッキ上に、都市的な雰囲気と調和した緑化を施し、本市の玄関口にふさわしい景観を形成する。

③-3 JAM広場の魅力向上策検討<事業主体：市・民>

目標年次：中期

小倉駅の玄関口であるJR九州改札口前のJAM広場は、1年を通じて様々なイベントが行われているが、今回の連絡通路リニューアルに併せ、よりにぎわいに寄与できる方策について関係者とともに検討する。

③-4 小倉駅新幹線口のにぎわい創出に資するリニューアル<事業主体：市・民>

目標年次：中期

小倉駅構内の新幹線口側のにぎわいづくりに向け、JR西日本の協力を得ながら、魅力ある飲食や物販などのテナントの集積や、1階コンコースの活用策などについて検討する。



④ 回遊性の向上に向けた歩行者動線の検討<事業主体：市>

目標年次：中期

スタジアム周辺に点在している集客施設を面的に連結することができる歩行者ネットワークの強化・拡充を図る。具体的には、スタジアムや周辺施設への来場者や市民が区内を快適に楽しんで回遊できるための歩行者動線誘導を検討する。

また、都心全体においても歩行者が快適に目的地へ移動できるように歩行者案内の充実を図る。

⑤ キャラクターストリートの検討<事業主体：市>

目標年次：長期

小倉駅新幹線口から漫画ミュージアムに向かう動線に、本市出身の漫画家のアニメキャラクターの像を並べ、集客を図るキャラクターストリートとして活用することを検討する。

⑥ 「文化・芸術の街 北九州」の発信<事業主体：市>

目標年次：中期

女性俳句の草分けである杉田久女・橋本多佳子などの文学的素材や、北九州フィルムコミッション・演劇における実績など、さまざまな文化資源・文化的取組みをつなげる仕組みづくりを検討する。

(2) アフターイベントを盛り上げる都心部の魅力を高める取り組み

<主な事業>

① サンロード商店街のリニューアル<事業主体：市・民>

目標年次：短期

H27年にリニューアルされるサンロード商店街を、アメニティ性を高めた商店街にすることで、女性が歩きたくなる空間を創出する。

サンロード商店街協同組合等による、アーティストと商店街がコラボレーションする、リニューアルに向けたイベントを開催する。

② 小倉城周辺の魅力向上検討<事業主体：市>

目標年次：短期

小倉城や小倉城庭園及びその周辺の魅力を高め、同地区への誘客や来訪観光客の滞在時間の長時間化を図るため、各施設等の魅力向上に資する施策の調査検討を行う。

